

新刊紹介

フォールレンデル西洋哲學史 第三卷

栗田賢三、吉野源三郎、古在由重共譯

哲學の研究に史的研究を缺くことが出来ないことは言ふまでもない。フォールレンデルの哲學史は簡單にすぎず、又餘り詳密でもなく、古代より現代まで一貫した手頃の良書である。哲學史に關する良書の少い我が國に於てこの譯書は恐らく大いに歡迎されるであらう。先に既に第一卷が譯出刊行されたが、今第三卷が譯成つて刊行され、第二卷は近く刊行される由である。

第三卷はカント以後の哲學史を敘述したものであるが、出來るだけ多くの參考書を涉獵して成るべく各哲學者自身をして語らしめるやうに工夫してある。ドイツが中心になつてゐるが、ドイツ以外をも展望し、普通の哲學史には省いてある社會主義の哲學をも忘れてゐない。只ごく最近の「現代哲學の展望」の章は簡短すぎると思はれるけれども、歴史的な研究として過去に重點を置き、過去から現代へどう影響し流轉したかといふ點だけをこの章で敘述したものと見れば、簡短なものも無理ではなからう。

譯文は流麗ではないが、慎重に細心に行はれ、かつ原著出版以來の變化は、譯者の努力によつて追記され、また明白に誤謬と認むべきものは訂正を加へた上で譯してある。これは随分努力のいる仕事だと思はれる。尙原著には各哲學者の記事の始に多數の參

彙報

考書を列記してあるが、譯文では省いてある。(岩波書店刊)

一〇八

美學會

六月二十一日日曜午後七時より樂友會館にて左の發表あり。

Max Dessoir, Karl Philipp Moritz als Aesthetiker

に就いて

藤田 貞次君

教育讀書會

六月二十三日火曜午後一時より教育研究室に於て左の發表あり

リーンハルトとゲルトルト

西元 宗助君

教育研究會

六月二十四日水曜夜六時半より、學生集會所に於て左の講演あり

興味、教育學的考察、特に個性との關係に就て

三木 康至君

倫理學讀書會

六月二十六日金曜午後三時より、倫理學研究室に於て左の發表あり。

Paul E. Johnson, An Experiment in Social Ethics

井上 雅夫君

心理學讀書會

六月二十六日金曜午後三時より心理學研究室に於て左の講演あり

り。

在外二年三箇月、主として視覚的聽覺的經驗の叙述

岩井勝二郎君

哲學茶話會

六月三十日火曜午後七時より樂友會館に於て左の發表あり。

〔繫辭的存在について〕(ラシュリエ)

澤瀉 久敬君

社會學讀書會

六月三十日火曜午後七時より樂友會館に於て左の發表あり。

都市と農村

木村 孝一君

寄贈圖書

フツセルの現象學 高橋里美著

第一書房刊
定價壹圓五拾錢

辯證法の批判的研究 大江精志郎著

理想社出版部刊
定價七拾錢

イデオロギイ論 三木清外十氏共著

同部刊
定價壹圓

自然科學者のための數學概論 寺澤寛一著

岩波書店刊
定價六圓五拾錢

リツケルト著

一者、統一及び一 伊藤謹一郎譯

同店刊
定價壹圓參拾錢

(哲學論叢第四十篇)

寄贈雜誌新聞

哲學雜誌	昭和六年七月	五三三號
基督教研究	同 七月	八年四號
理想	同 七、八月	二五號
學校教育	同 七月	二一七號
哲學と心理	同 七月	創刊號
史潮	同 六月	一年二號
學園日記	同 七月	二四號
生理學研究	同 六月	八卷六號
奈良縣教育	同 七月	二一九號
願慧	同 七月	十年七號

帝國大學新聞 昭和六年七月六日